

2026 年 CRA に関する認知度と準備状況

CRAが年内に施行されたにもかかわらず、回答者の66%は依然として同法についてよく知らないままであり、これは2025年の水準(62%)と同様である。



EU市場で製品を販売する際にはCRAを遵守する必要があるが、米国およびカナダの回答者の72%は同法について認識していない。



CRAについて既に理解している組織の41%は、この規制が実際に自分たちに適用されるかどうかをまだ判断していない。



2027年12月に完全な遵守が求められる。目標時期として正しく認識しているのは回答者のうちわずか34%で、46%は期限自体について依然として不明確なままである。

回答者の56%は、法令違反に対する罰金が1500万ユーロ、または世界年間売上高の2.5%に達する可能性があることを認識していない。



マニファクチャラーのうち、全製品のSBOM(ソフトウェア部品表)を作成しているのはわずか32%で、51%は依然としてセキュリティ修正を上流のプロジェクトに受動的に依存している。

平均86個のプライベートフォークを維持するため、組織はリリースサイクルごとに約25万8000ドルの人件費を負担する必要があり、これは組織規模に比例して大幅に増加する。



2027年12月までに完全に準拠できると見込んでいるマニファクチャラーはわずか41%で、39%はいつ準拠できるか分からないと回答している。

12,863件のプロジェクトを分析した結果、プロジェクトに貢献する組織の数はプロジェクトのセキュリティ体制を強く予測する要因となることが示され、アップストリームへの投資が直接的なコンプライアンス戦略となることを示している。



回答者の48%はデジタルメディアや開発者コミュニティを通じてCRAについて知った一方、EUの公式チャネルを通じてCRAを知ったのは回答者のわずか25%だった。



非営利のオープンソースソフトウェア開発者の59%は、CRAの適用状況に関する明確なガイダンスがあれば、今後も貢献を続ける自信が持てると述べている。



2026年第1四半期におけるCVEの検出件数は前年同期比で394%急増し、14,000件以上のオープンソースプロジェクトにおいて、深刻度の高い脆弱性は811%増加した。

